

第6回 稲敷市事務事業評価 外部評価委員会

日時：令和3年2月19日（金）午後2時00分～

場所：リモート開催

発言者	発言内容
-----	------

1. 開会

事務局	<p>それでは、時間になりましたので、始めさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しい中、お集まり頂き誠にありがとうございます。</p> <p>只今より、稲敷市事務事業評価外部評価委員会第6回会議を始めさせていただきます。</p>
-----	---

2. 委員長あいさつ

事務局	それでは、お配りした会議次第に沿って「2. 委員長あいさつ」を委員長、よろしくお願いします。
委員長	改めましてよろしくお願いします。本日が最後の委員会です。皆様のお手元に報告の案が届いていると思います。これにお目通しいただきながら最終的な調整をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

3. 報告

(1) 第5回外部評価委員会 議論のまとめ及び修正フォーマットの確認

事務局	それでは報告の方に入らせていただきます。進行は要綱第6条に「委員長は会議の議長となる」とありますので、委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
委員長	それでは、「3. 報告（1）第5回外部評価委員会 議論のまとめ及び修正フォーマットの確認」につきまして事務局よりご説明お願いいたします。
事務局	《資料説明》
委員長	ありがとうございます。ご意見ご質問ありますか。
副委員長	今回提案する評価は、口頭での情報というより紙ベースの資料から情報を得て進んでいく事になると思います。その際、前回の評価書を見て気付いたのですが、数値目標がほとんどアウトプット指標になっています。アウトプット指標とアウトカム指標と大きく2つあると言われていて、アウトプットというのは、基本的に自分で仕事量の目標を立ててどのくらい達成できたか、という行政側の達成状況みたいなものです。その目標は適正である必要があります。アウトカムは、その成果によって、住民がどれだけ恩恵を受けたか。アウトプットは必要な指標ですが、アウトプットばか

	<p>りだと自己満足に終わってしまう。低い目標を立てれば、住民は誰も喜んでいないかもしれないのに、自己満足的に達成した、今後もやりますということで終わってしまう。そういうことがあると、どれだけ有効な事業か分からないまま終わってしまう可能性もある。全国的なデータを見て稲敷市はどれくらい進んでいるか、どのくらい遅れているかを踏まえた上で、アウトプット指標を作ればいいが、担当者がそういうことを考慮しないと、思いつきの数値目標になってしまう。やはりビッグデータも含めたデータをもって、これだけの目標を立てるのは適当だと誰もが納得するような数値をもった上で、達成状況をフォローしていくということが大事。</p> <p>もう一方のアウトカムは住民の満足度を測る指標だから、例えば市民世論調査のようなものを実施して、どれだけ必要としているかを把握した上で目標を立てて、満足度を測っていくことが大事。</p> <p>基準になるものはビッグデータのものと住民の満足度です。この2つをフォローした上で数値目標を立てなければならない。数値目標が正しいのかどうかというところは、我々外部委員では、役割を与えられていないので、意見の申し上げようがない。内部評価でその辺をチェックしてもらいたい。それが大事なのかなと思います。よく言われている評価基準では、もっと大きいインパクト、社会的・経済的な変化がどう起きたかというような評価手法もあるが、そこまでは求めなくてもアウトプットとアウトカム、この2つをきちっとデータを踏まえた上でやるのが良いかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。いわゆるインプット、アウトプットのお話で、アウトカムは施策評価の世界ではよく言われています。確かに、私はよく授業では施策の結果がアウトプットで、施策の効果がアウトカムであるとまとめたりしています。交通違反の取り締まりで例えると、何件捕まえたというのがアウトプットで、交通事故が何件減ったかというのがアウトカムです。どちらが大事かとなるとやはりアウトカムです。一方でアウトカムは難しさもあって、施策以外の効果を排除できない。様々な要素、例えば住民満足度とかが関わってくるので、本当にアウトカムを評価することがその施策だけの理由なのかということを経験するのが技術的には難しいという気はしております。</p> <p>多くの自治体で、アウトプットメインで行政評価していると思います。確かに副委員長が仰ったようにアウトカムの視点が全くないというのも物足りないとも思うのですが、アウトプットなりアウトカムなり評価の指標の設定というのは外部評価委員会の権限ではないのですよね。</p>
<p>事務局</p>	<p>こちらについては外部評価でご意見をいただいて、次期総合計画には反映はできると思うのですが、数値目標が妥当かどうかということを経験外</p>

	<p>部評価委員会で下すということは想定しておらず、自由意見としていただければと思っています。副委員長が仰ったことは、本当に稲敷市にとって良い課題なので次期の総合計画見直しの時に数値目標とアウトプット、アウトカムをきちんと峻別したり、アウトカムをどう取っていくのかということをご指摘の通りとても大切であると考えております。</p> <p>現時点でもアウトプットとアウトカムを両方つけている事業とアウトプットのみ事業があります。やはり総合計画の指標は、各担当課で作っている、高齢福祉課でしたら福祉計画、社会福祉課でしたら社会福祉計画、そういった数値を実際の事務事業評価の指標にしているのが大半だと思います。今回外部評価委員からのご意見をいただいて各担当課に指標の見直し、改善等に生かしていただけるようにお話しができればと思います。</p>
副委員長	<p>方向性として、アウトカム指標を意識してもらいたいなと思っているのです。自己満足的なことを目標にしたのでは目標値が低くなり、我々もそれでしか評価できないので、是非とも改善できるものがあれば改善していただきたいです。よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>ではこの辺りは何らかの形で、付帯意見として反映していただくこともご検討いただければと思います。ありがとうございます。委員から何かありますか。</p>
委員	<p>一点、資料を配るときにデータで用意していただくと、その方が楽だという人も多いと思います。パスワードとかはかけなければならないかもしれませんが、そのような工夫もすると時間効率も良くなるのかなと思いました。</p>
委員長	<p>確かにデータでいただいてパソコン入力できた方がありがたいですし、集計する事務もその方が良いかもしれません。</p>
事務局	<p>電子データでも併せて送るように配慮したいと思います。先ほど副委員長からいただいたご意見と委員からいただいたご意見も、報告書の中に入れてたいと思います。ありがとうございます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p>

4. 議題

(1) 令和2年度外部評価委員会からの提言について

委員長	続きまして、「4. 議題(1) 令和2年度外部評価委員会からの提言について」事務局よりお願いします。
事務局	《資料説明》
委員長	ありがとうございます。ご意見ご質問ありますか。
委員	8ページについて、このままでも良いと思うのですが、初めて読んだ人が現在形の方が良いのか過去形の方が良いのか、読む方にとってどちらが良いのかご確認いただければと思います。
委員長	今までの資料ベースだから現在形になっていたということですね。
コンサルタント	これは修正忘れだと思しますので差し支えなければ過去形の方が良いかと思いがいかがでしょうか。
委員長	過去形で問題ないですね。お手数ですがよろしくお願いします。副委員長いかがでしょうか。
副委員長	特に意見はありません。
委員長	ありがとうございます。私から提案というか意見ですが、毎回日時・場所・出席委員が書いてあるわけですが、出席委員にコンサルタントは入らないのですか。毎回来てくださっていたのにと。思って。
事務局	入れていただいて問題ないです。
委員長	実際、議論にも加わっていただいたりしたので、できれば入れていただきたいと思います。
事務局	続きまして、提言内容として24ページから28ページを詳しく説明したいと思います。
	《資料説明》
委員長	ありがとうございます。まず24ページで見直しの方向性とあります。今まで我々が議論してきた中心的な議題だと思えます。こちらについていかがでしょうか。
	《意見なし》
委員長	では25ページからですね。こちらについてはいかがでしょうか。
副委員長	2)の①ですが、「施策評価+施策評価と同時に実施する事務事業評価」とありますが、分かりにくい表現ですね。何が言いたいかという、施策評価に関連する事務事業も併せてやりますということですね。少し書き方を一工夫して分かりやすくした方が良いと思います。
事務局	今副委員長が仰った、施策評価に関連する事務事業評価でいかがでしょうか。

委員長	そうすると、「施策評価+施策評価と関連する事務事業評価」となりますよね。つまりここに出てくる、施策評価と同時に実施するという形容詞句の部分というのは、②と③の事務事業評価は違うと示したいということですよ。
事務局	そうです。施策評価と同時に事務事業評価も実施するということを言いたいという意図がございます。
副委員長	時間軸の表現になっているからわかりにくいと思います。ここは時間軸ではない方が良くと思います。
事務局	施策評価と同時にやっていただきたい事務事業評価という意味なのですが、外部評価委員に選んでもらう事業や新規事業とは違って、施策評価の評価表に関連する事務事業がありますので、一緒に評価してくださいということで書いています。
委員長	②、③の事務事業評価とは違いますということですよ。個人的には下の説明書きを見ればわかるので、表題は施策評価+事務事業評価と単純化しても良い気もしますが、それだと不安という場合は副委員長が仰った案を採用していただければと思います。 それでは事務局から次の説明をお願いします。
事務局	《資料説明》
委員長	ありがとうございます。大きく分けて4つありますね。まず1つ目、2番目の議会報告について明文化しないについては、あくまで現在の議会のみで表記されていて実際の報告書からは削除するということですよ。 2つ目、4)のいわゆる学識経験者に関する表記が少し変わっていますがこれはいかがでしょうか。
副委員長	これは事務局がどう判断するかです。要するに通常だと色々な団体に参加してもらうことに意味がある、みたいなイメージの審議会が多いが、外部委員会はそういう形式的なことではなくて実質的に中身を見なければならぬので、専門性が必要ということであれば、我々は特に意見はないです。
委員長	副委員長のような方は行政経験者になるのですよね。委員と私が行政や政策についての研究教育経験がある者で、この2者が学識経験者になってそれ以外の方々は(2)その他市長が適当と認めるものになる、ということで良いのですよね。
事務局	はい。施策評価の際により具体的で明確なご意見をいただくためということであえて明記させていただいております、内部では調整済みです。
委員長	ありがとうございます。3番目が要綱の第4条の改正ですよ、いかがでしょうか。

副委員長	基本的に良いと思いますが総合計画審議会の委員の兼任については妨げるものではないという考え方で良いのですよね。そうでないと総合計画審議会にも意見を反映させないといけないと思うのですよ。そういうのが必要かと思います。
事務局	おそらく妨げないということで問題ないと思いますが、内部でも確認はさせていただきたいと思います。
委員	余計なことかもしれませんが、例えば選挙があって、この総合計画の途中で市長が新たに別の市長になり、基本計画を3年目あたりでやり直すといった時にはどうなるのですか。
事務局	その場合は、おそらくその都度の協議になってしまうのではないかと思います。首長の意向が反映されるところがありますので、委員の構成も再度計画の見直しを含めて検討する、という流れになるかと思います。
委員長	ありがとうございます。他にないようでしたら次に進めていただきたいと思います。
事務局	《資料説明》
委員長	ありがとうございます。行政の職員の方々はどうしても部署の異動がありますので、実際にこの後、外部評価が動くときには今の担当の方が来れるとは限らないので、こういった資料が残されていくわけですが、そういったことも含めていかがでしょうか。
副委員長	先ほどのアウトプット、アウトカムの指標をフルに活用した数値目標については、1番大事なところなので、外部評価だけでなく内部評価の時から何らかの形で意識付けするために書いておいた方が良いと思います。そうでないと、どこに書いてあるのかと担当課に言われると思います。だからもし言われたときに、言えるように書いておいた方が良く思う。
委員長	私の理解では、今回の外部評価委員の職掌からはやや超えているような気もしますが、だからこそ先ほど様々な部分に反映してくださるということでした。市長への報告書には、今の趣旨のことを記載していただいて、行政内部で議論していただくという認識をしていたが、事務局いかがでしょうか。
事務局	こちらについては、例えばまとめの部分に新たに今後の提言のような項目を作り、「その他」の中で大切だと思われる部分と合わせて、もう少し目立たせるような構成は可能です。
副委員長	ご検討いただければと思います。内部評価の際、各課へ依頼しやすいようにした方が良いということも含めての意見ですのでよろしくお願いします。
委員	事務的なことの確認なのですが、32ページで、令和4年6月委嘱状交付となっています。ただ、先ほどの話で、外部評価を始める前に令和3年

	<p>10月上旬あたりから外部評価の報告があります。そうすると外部評価委員はいつから始まるのかという問題が出てきますので、事務局が分かりやすいようにしていただいて、混乱がないようにしていただければと思います。</p>
事務局	<p>ご承認をいただければ今年度末のタイミングで要綱を改正するので、来年度、もしよろしければ委員長、委員、そして副委員長には引き続き委員になっていただくようにこちらからご依頼を申し上げます。</p> <p>32ページの3月までに必要なのは追加で必要な場合というニュアンスです。新規で5名まで委員の選出が可能なので、こちらの5名の方の追加がある場合にはということが分かるように記載したいと思います。</p>

(2) 全体のまとめ

委員長	<p>各委員から全体に関するご意見をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>まず、非常に意欲的で目標が高い委員会であったと思います。今後に向けてということ、言いづらいのですが、この評価が実施された場合、外部評価委員の負荷が高まると思うのです。資料が先に送られてきて読んで、その作業を研究室や自宅や職場などの会議以外の場でするとなると、負荷と謝金の関係性を検討していかなくては、と思います。なぜこれを申し上げるのかというと、つい最近別の自治体で会長をやったときに、他の委員からボランティアでやっているのではないと怒られたのです。そういう点で言うと、もちろん稲敷市を愛している人たちが来るので、文句を言う人はいないと思いますが、より専門性の高い公認会計士や税理士が入ったときにそういう問題も将来でてくるのかなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。今回私自身勉強になりました。行政改革の委員会や審議会自体はほかにも3つの自治体で担当していますが、ほとんどすべて事務局が資料から何から準備して、その通りに進んで予定時間通りに終わるといふ審議会も多いのが現状であると思います。ところが、稲敷市は新しく外部評価の仕組みを作り上げるというようなところで、もちろん事務局の方々が資料作りから具体案の検討までしてくださったわけですが、委員会の中でも3人の委員、またほかの事務局の方々もいてかなり本質的な議論をして、さらにほかの自治体の事例も勉強させていただきながら、作り上げるという経験ができたと考えております。今回こういった形でまとめ、実際パーフェクトに動くのかどうかということはやってみないとわからないですが、これが本当の意味での稲敷市の行政改革の1つの仕組みとして機能すれば良いと願っております。ありがとうございます。</p>

(3) その他

委員長	その他ということで今後のスケジュールについて事務局よりお願いします。
事務局	<p>今後のスケジュールをご説明したいと思います。原稿の締め切りなのですが2月26日(金)までとなっております。それを受けて我々の方で報告書をまとめさせていただいて3月8日ぐらいまでには出来上がると思います。ただし、最終報告書の確認を各委員の方にお送りして、第7回の委員会はこれからご議論いただく予定なのですが、実施するのであれば第7回を実施して終了という流れとなっております。</p> <p>また、議事録については我々の方で精査しておりますので、後ほど送付させていただくのでご確認ください。</p>
委員長	ありがとうございます。ちなみに第7回に委員が入っていないのは欠席届が出ているのですか。
コンサルタント	申し訳ございません。たまたま外れてしまっておりました。
事務局	もし実施する場合には全員参加でお願いしたいと考えております。
委員長	是非よろしくお願いします。
委員	第7回を実施するかどうかを決めなくてはならないのではないですか。
委員長	報告書が送られてきた後でなく、今決めた方がよろしいでしょうか。
事務局	<p>今決めるということであれば、市長に報告書を手渡ししていただくのが通例儀式的にありまして、こちらの都合で大変申し訳ないのですが、3月25日の午前中であればスケジュールが確保できそうだとということまでは調整しているのですが、コロナ禍でもありますし、事務局に報告を任せるということであれば、我々の方で市長に報告をすることもできます。</p> <p>委員の皆様のご決定に従いたいと思います。</p>
委員長	3月後半は新学期の準備の関係で稲敷市までお邪魔するのが難しい状況です。
事務局	3月の前半であれば、議会後であれば空いているということをお補佐から聞いたので、改めてご調整させていただくことは可能です。
副委員長	報告書の案が届きましたけど、こちらは多少手直しはあると思いますが、前もって配っておいてもらえればそれほどの手間はかからないと思うんですよ。市長報告は、例えば、委員長からリモートで報告してもらおうとかも考えられますよね。やはり事務方から渡すのも変だから委員長からコメント付きで渡す方が良いと思います。
事務局	委員長、3月末はお忙しいということでしたが3月中旬とかでお時間が取れる日程はありますか。
委員長	調整は可能だと思います。

事務局	<p>ではもう1度、3月は議会中ですので市長が空いている時間が確認できると思いますので、再度電話で調整させていただきます。</p>
委員長	<p>基本的に第7回はなしということでしょうか。もしご意見があれば改めて事務局にご連絡いただければと思います。</p> <p>他に何も無ければ、本日の第6回外部評価委員会の会議を閉会し、進行を事務局へお返しいたします。</p> <p>ご協力、ありがとうございました。</p>
事務局	<p>それでは、本日は長時間にわたりご審議をいただき、ありがとうございました。これを持ちまして、第6回稲敷市外部評価委員会を閉会いたします。</p> <p>本日は、ご協力ありがとうございました。お疲れ様でした。</p>

以上